

## ステージⅠ（基本的力量形成期）自己マネジメント研修レポート

7月2日(火)栃木県学校生活協同組合会館にて、平成25年度ステージⅠ（基本的力量形成期）自己マネジメント研修を開催しました。昨年度までは新加入会員等研修として開催していましたが、今年度から、「研修の体系化」に基づきステージ別研修として、ステージⅠ（1～3年目）を対象に24名の方が参加しました。

日程説明、栃事研役員紹介のあと、栃事研の活動についての説明があり研修にはいりました。

まずは、栃事研岡崎会長から、「自己実現・自己探求の手法を学ぶ」をテーマに講話がありました。10年後の自分はどうか、目指す事務職員像に向かって、1年後、2年後はどうあるべきか。そして、1ヶ月後、2ヶ月後はどうなのか。その目標を達成するためには、一つ一つの実践をクリアしていく。そして、次の実践へと実践を重ねていくことが重要であり、その積み重ねがキャリアとなって形成されていくということ。新規採用者にはそのための時間やエネルギーがあり、また、先輩事務職員からのアドバイスを聞いて吸収する力がある。これから、自立的・主体的に行動し、他者と協働して、組織貢献し続けていくために、まず、この時期に、仕事をしていくにあたって、見る・聞く・話す・調べる・振り返ることの習慣づけ、コミュニケーション、自らの心身の調整も大切である。この手法が「自己マネジメント」であり、是非、ステージⅠの皆さんに身に付けて欲しい能力の一つであると示されました。



続いて、グループごとに分かれての演習を行いました。最初に、事前課題として持参してもらった Action シート①をもとに、各自が目指している事務職員像を発表しながら自己紹介を行いました。その後、目指すうえでの課題や悩みを付箋に書き出し、発表しました。誰もが学校での課題があり、似たような悩みも多く、お互いがとても共感できるものとなりました。その後、グループごとに2年目の参加者からの体験発表がありました。1年目に悩んでいたことやそれについての対処法、モチベーションについてなども参考になる発表で、2年目とは思えない素晴らしい発表でした。その後、付箋に書いた課題についてどう取り組むことが必要かを話し合いました。お互い活発な意見交換を行い、先輩の意見を聞くことで、課題解決のための糸口をつかめたのではないかと思います。



休憩をはさみ、先輩の話として栃木市立藤岡第二中学校石川主任にご講話をいただきました。

1年目は経験を積み、事務職員としての「かくあるべき」を形成する大事な期間である。という言葉を始めとし、ご自身の苦い体験をもとに大変ためになるご講話をしていただきました。また、今後のスキル向上として行動規準表や、事務部経営計画の活用についても教えていただきました。



その後は再びグループ研修を行いました。課題解決への案を各自提示し、付箋を貼りました。先輩の話聞いて、問題解決へのさらなる手立てが見つけられ、有意義な話し合いを行うことができました。

次に Action シート③に今後の目標の記入を行いました。各自、短期・中期・長期的な目標を立てました。グループ内で発表した後、グループの代表者が発表を行いました。どの参加者も目標設定をすることができました。

最後に Action シート②により振り返りを行いました。各自が自分なりに自己マネジメントについて理解し、重要性を感じ取れたという結果が出ました。



参加者には、研修をとおして、各自が設定した目標に向かって、どんな実践、どんな取組をしたかを6ヶ月後に提出していただきます。参加者の皆様の意欲的な取組に期待しています。

また、栃事研では、このデータを集約、分析して、各方面に提供し、これからを担う事務職員の成長を支援していく体制を整えていきます。

【栃事研研修部】